資料6

千代田区

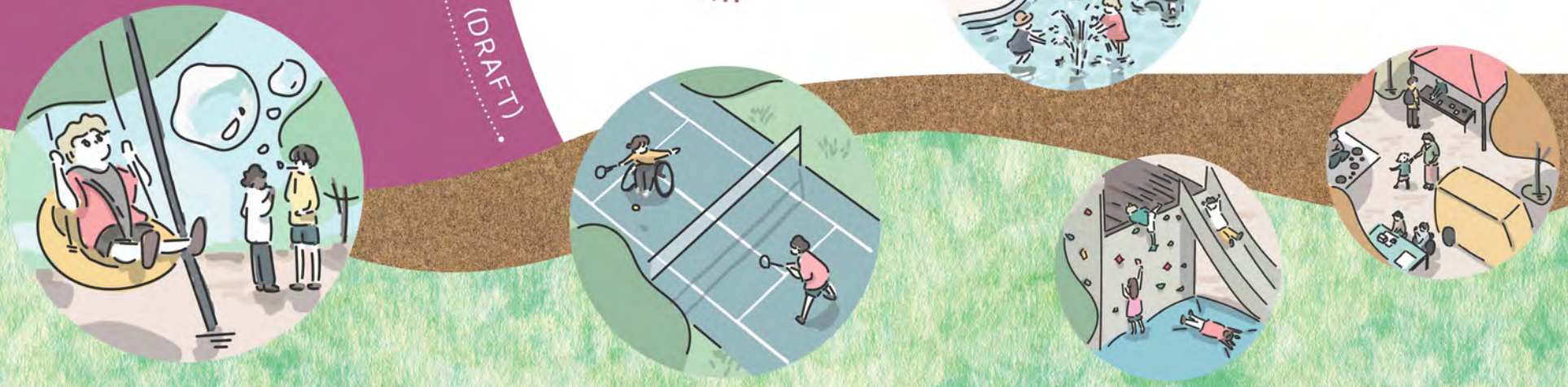
公園づくり
基本方針（素案）

BASIC POLICY FOR CHIYODA CITY PARK DEVELOPMENT (DRAFT)

千代田区の歴史を継承し

次世代を育む

居心地よいコモンスペースを目指して



禁止だらけの公園からみんなが思い思いに使える公園へ

神田児童公園で花火

錦華公園で水遊び

ここにきたらニコッとする、ホッとする、そんな公園へ

遊び、学びを通じて健やかに育つ

外濠公園でボール遊び

はじめに

千代田区長　樋口高顕

令和７年○月　千代田区長　樋口高顕

目 次

chapter 1

第１章 千代田区公園づくり基本方針について 03

1．方針の背景と目的 03
2．方針の対象 04
3．方針の位置付け 05
4．これまでの公園を取り巻く環境の変化 06
5．これからの公園行政が目指す方向性 06

chapter 2

第２章 公園等における現状 11

1．人口の増加と公園面積の関係 11
2．緑の状況 12
3．公園の整備状況 13
4．公園施設の整備状況 16
5．公園の機能 19
6．公園の利用状況 22
7．地域ごとの特性 29
8．公園をより良くするための４つの視点 30

chapter 3

第３章 公園づくりのビジョン 35

1．基本的な考え方 35
2．地域毎の公園づくりの考え方 35
3．基本理念（コンセプト） 37
4．基本方針と施策 38
5．未来の公園シーン 47

chapter 4

第４章 公園づくりの進め方 51

1．計画の実現に向けて 51
2．これまでのハード面の取組み 53
3．今後のハード整備の取組み 58
4．これまでのソフト面の取組み 61
5．今後のソフト事業の拡充 62
6．他事業・他区との連携 63
7．進行管理 66
8．公園施策の深化に向けて 67

巻末資料 71

用語集 71
アンケート結果 73

BASIC POLICY FOR CHIYODA CITY PARK DEVELOPMENT

chapter

1

第１章
千代田区公園づくり基本方針について

1. 方針の背景と目的
2. 方針の対象
3. 方針の位置付け
4. これまでの公園を取り巻く環境の変化
5. これからの公園行政が目指す方向性

chapter

1 千代田区公園づくり基本方針について

1. 方針の背景と目的

【背 景】

公園は、誰もが憩える空間であり、安心して過ごせる場です。また、都市部にとって貴重なうるおいのある緑の景観、多様な生き物の生息空間を創出するとともに、災害時の避難場所、都市気象の緩和、雨水の貯留浸透、地域コミュニティの醸成など様々な役割を果たす重要な都市インフラです。このことを念頭に置き、千代田区では、平成19(2007)年5月に『千代田区公園・児童遊園等整備方針』(以下、「整備方針」という。)を策定しました。

整備方針により着実に公園整備を進め、現在58箇所の公園・児童遊園・広場が整備され、多くの方が利用しています。

一方で、整備方針の策定後16年余が経過し、都市部の人口回復や都市開発による土地利用の変化など、公園を取り巻く環境は大きく変化しています。そこで、これらの変化を的確に捉え都市にうるおいをもたらす公園の魅力を最大限に引き出すため、整備及び管理に関する方向性を示す『千代田区公園づくり基本方針』(以下、「本方針」という。)として名称を改め、内容を改定します。

【方針期間】

本方針は、令和7(2025)年から、概ね20年後を展望するものとします。

2. 方針の対象

本方針の対象は、千代田区が管理する58箇所の公園・児童遊園・広場を対象とします。(以下、千代田区管理の58箇所の公園・児童遊園・広場を「公園」という。)なお、東京都が管理する「日比谷公園」や環境省が管理する「北の丸公園」、「皇居外苑」、「千鳥ケ淵戦没者墓苑」、衆議院が管理する「国会前庭」、宮内庁が管理する「皇居東御苑」は、本方針に含んでおりません。

千代田区立　公園・児童遊園・広場位置図

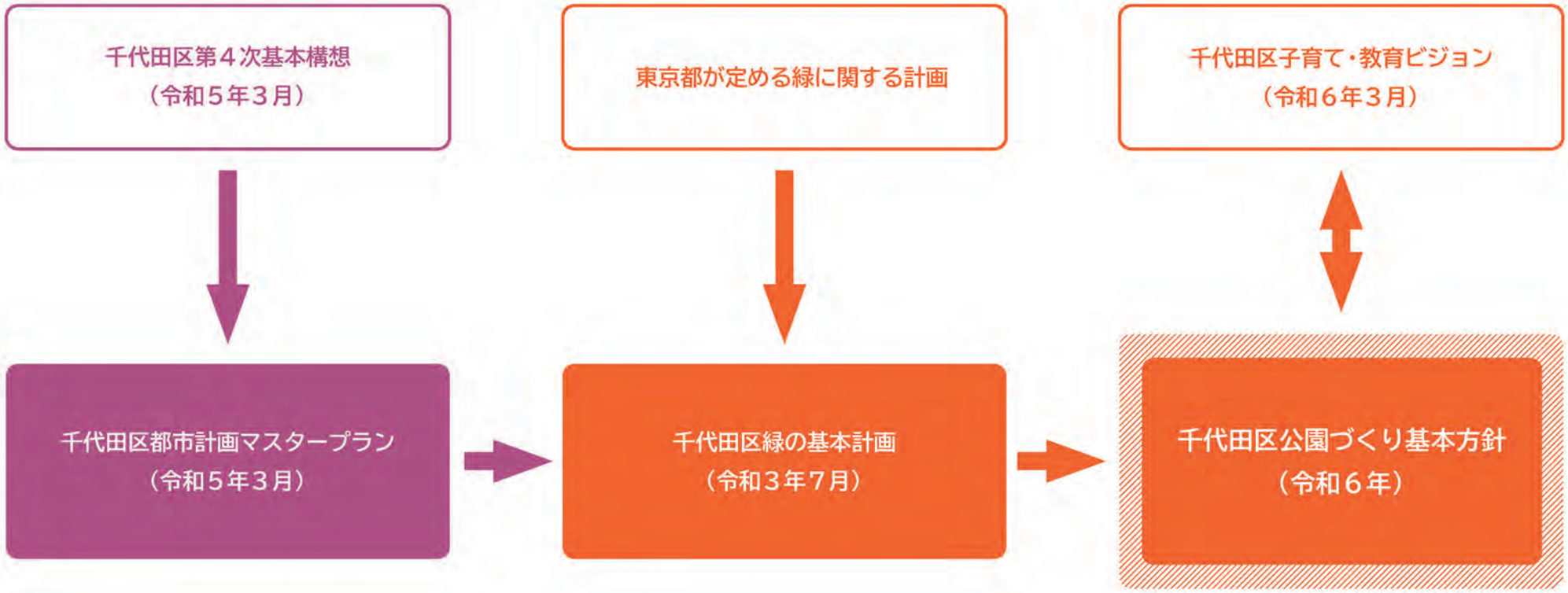
表 千代田区立公園等一覧

番号	公園名	所在地	面積（㎡）
	区立都市公園		
1	宮本公園	外神田二丁目 16 番 9 号	3,312.39
2	芳林公園	外神田三丁目 5 番 18 号	1,953.81
3	東郷元帥記念公園	三番町 18 番地	7,119.43
4	練成公園	外神田六丁目 11 番 19 号	1,993.38
5	錦華公園	神田錦町一丁目 1 番 2 号	2,758.97
6	淡路公園	神田淡路町二丁目 27 番	3,000.02
7	西神田公園	西神田二丁目 3 番 11 号	2,084.42
8	神田児童公園	神田司町二丁目 2 番地	2,179.37
9	神田橋公園	神田錦町一丁目 29 番地	1,843.66
10	佐久間公園	神田佐久間町三丁目 21 番地	1,050.81
11	三宅坂小公園	隼町 4 番 3 号	802.41
12	麹町児童公園	岩本町一丁目 14 番 1 号	261.61
13	常盤橋公園	大手町二丁目 7 番 2 号	2,596.00
14	清水谷公園	紀尾井町 2 番 1 号	10,701.17
15	千鳥ヶ淵公園	麹町一丁目 2 番地、一番町 2 番地	15,845.60
16	九段坂公園	九段南二丁目 2 番 18 号	2,043.71
17	富士見児童公園	富士見一丁目 1 番 16 号	623.72
18	神保町愛全公園	神田神保町二丁目 20 番地 3	400.00
19	和泉公園	神田和泉町 1 番地 300	4,607.71
20	秋葉原公園	神田佐久間町一丁目 18 番地	704.99
21	内神田尾崎公園	内神田一丁目 5 番 14 号	386.76
22	外濠公園	富士見二丁目、九段北四丁目五番町	40,819.94
	計 22 カ所		107,089.88
	区立児童遊園		
1	五番町児童遊園	五番町 12 番地先	2,271.00
2	湯橋児童遊園	九段北一丁目 1 番 1 号	252.33
3	中坂児童遊園	九段北一丁目 13 番 1 号	87.92
4	堀留南児童遊園	九段北一丁目 6 番 9 号	195.00
5	堀留北児童遊園	飯田橋二丁目 1 番 1 号	189.00
6	神三児童遊園	神田神保町三丁目 10 番地	188.42
7	三崎町児童遊園	神田三崎町二丁目 12 番 12 号	73.17
8	錦三会児童遊園	神田錦町三丁目 3 番地	124.00
9	鎌倉児童遊園	内神田三丁目 1 番 2 号	89.00
10	地蔵橋東児童遊園	岩本町一丁目 1 番 1 号	307.00
11	地蔵橋西児童遊園	神田美倉町 10 番地	67.00
12	お玉が池児童遊園	岩本町二丁目 5 番 1 号	158.67
13	岩本町二丁目児童遊園	岩本町二丁目 18 番 6 号	205.82
14	和泉橋南東児童遊園	岩本町三丁目 11 番 16 号	197.61
15	和泉橋南西児童遊園	神田岩本町 15 番地	92.79
16	美倉橋東児童遊園	東神田二丁目 8 番 16 号	163.00
17	美倉橋西児童遊園	東神田二丁目 3 番 1 号	183.00
18	美倉橋北児童遊園	神田佐久間河岸 92 番地先	96.00
19	佐久間橋児童遊園	神田佐久間町一丁目 11 番地	357.86
20	左衛門橋南児童遊園	東神田二丁目 8 番 1 号	108.00
21	左衛門橋北児童遊園	東神田三丁目 1 番 17 号	79.00
22	いずみ児童遊園	神田和泉町 1 番地	352.79
	計 22 カ所		5,838.38
	区立広場		
1	麹町こどもの広場	麹町六丁目 2 番地先	571.00
2	飯田橋こどもの広場	飯田橋三丁目 12 番 3 号	244.00
3	昌平橋東橋詰広場	外神田一丁目 1 番 1 号	85.95
4	昌平橋西橋詰広場	外神二丁目 1 番 17 号	67.71
5	四ッ谷駅前広場	麹町六丁目 6 番地先	658.80
6	内幸町広場	内幸町一丁目 5 番 1 号	1,357.28
7	小川広場	神田小川町三丁目 6 番地	3,179.63
8	西神田けやきの広場	西神田三丁目 36 番地	342.39
9	隼町広場	隼町 1 番地	395.24
10	岩本町馬の水飲広場	岩本町三丁目 10 番先	379.45
11	西神田百樹の広場	西神田三丁目 39 番 2	808.87
12	秋葉原駅東口広場	神田佐久間町一丁目 22 番地先	779.86
13	大和橋広場	岩本町三丁目 6 番地先	137.54
14	秋葉原中央令和広場	神田松永町 200 番地	191.43
	計 14 カ所		9,199.15

3. 方針の位置付け

千代田区では、「千代田区第４次基本構想（令和５年３月）」、「千代田区都市計画マスタープラン（令和５年３月）」を上位計画とし、令和３年７月に「千代田区緑の基本計画」を策定しています。これらの実現に寄与すべく、本方針は都市緑地法に基づく都市公園の管理方針とするとともに、「千代田区緑の基本計画」の一部として位置付けます。

千代田区の子育て・教育分野における目指すべき基本的方向性を示す「千代田区子育て・教育ビジョン（令和６年３月）」では、「安全で安心な居場所づくり」を掲げており、子どもたちがのびのびと安全に外遊びができる居場所を整備していくこととしています。このことを踏まえ、子育て・教育分野との連携を図りながら公園や児童遊園の整備を行います。



体系図（本方針と上位関連計画との関係）

4. これまでの公園を取り巻く環境の変化

高度経済成長に伴う商業化の急速な進展により、公園は働く人達の憩いの場として利用されるようになりました。その後も、人口の増加傾向が続き、公園は子ども達の貴重な遊び場となっています。区民人口の増加や、様々な都市開発等によって、公園を取り巻く環境は大きく変化しています。

そこで、「千代田区次世代育成支援行動計画(平成17年度)」において、安心して子育てできるまちづくりを達成する具体的な事業として、「公園・児童遊園の整備」を挙げ、「千代田区公園・児童遊園等整備方針(平成19年度)」を基に整備を進めてきました。

平成25年には、将来を担う子ども達が、外遊びを通して健やかにたくましく育つことのできる社会を築くために「千代田区子どもの遊び場に関する基本条例」が制定されました。公共の場の喫煙に対する意識の変化とともに、公園は一部の大人達の憩いの場から、より幅広い年齢層に利用される場所へと変化してきています。

現在は、公園は地域住民、特に子どもたちにとっての重要な利用の場となっており、都市化のさらなる進展を受け、その役割はこれまで以上に大きなものとなっています。

このように、公園は時代の変遷とともにその役割も変化し続け、今後も地域の人々にとって大切な場所であり続けます。

5. これからの公園行政が目指す方向性

2017年に都市公園法が改正され、**住民参加の拡大**や**民間活力の導入**など公園の新たな活用の可能性が生まれています。

具体的には、地域の関係者と公園管理者が公園利用の方法について話し合う協議会の設置や、民間の優良な投資を誘導することで公園管理とする「公園設置管理制度(Park-PFI)の創設」など、公園づくりは新たな段階を迎えています。

そこで、本方針を策定することにより、千代田区で暮らす人、働く人、訪れる人など、千代田区に関わる多様な主体と協働し、これまでの行政主体の整備から、区民とともに手を携えて公園をより魅力的な場所につくり育てていくことを目指します。

COLUMN SDGs との関連・・・

SDGsとは、「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略で、地球や人々の問題を解決するための国際的な目標です。貧困の解消や、健康と教育の向上、自然との共存などを目指しています。

公園の役割

- 自然を大切にし、みんなが楽しく過ごせる場所
- 健康に良い遊び場
- 学ぶこともできる場所

公園を通じて、SDGsの大切さを伝えることができ、SDGsの目標達成に寄与することが可能です。

COLUMN カーボン・オフセット事業の取組み・・・

2022年にリニューアルした東郷元帥記念公園のウッドデッキには、岐阜県高山市の杉材を活用しています。

地方都市との連携によるカーボン・オフセット（CO2排出用の相殺）事業により、低炭素社会の実現を目指しています。

下段広場のウッドデッキ

～整備にこめるみんなの思い～

ウッドデッキで使われている木材の裏側には、地域の方々や子ども達の思い思いの絵や言葉が描かれています。

CURRENT SITUATION OF PARKS

chapter

2

第２章
公園等における現状

１. 人口の増加と公園面積の関係
２. 緑の状況
３. 公園の整備状況
４. 公園施設の整備状況
５. 公園の機能
６. 公園の利用状況
７. 地域ごとの特性
８. 公園をより良くするための４つの視点

chapter
2 公園等における現状

1. 人口の増加と公園面積の関係

【人口増加】

・千代田区の人口は、現行の整備方針が策定された平成19年度は**44,954人**であったのに対し、令和４年度時点では**67,049人**に達しており、約1.5 倍の増加となっています。

・千代田区の特徴的な要素は、**昼間人口の多さ**であり、令和２年度の国勢調査結果では、昼間人口は116万９千人※にのぼります。このため、区民だけでなく、区外からの来街者の公園利用についても留意する必要があります。(※昼間人口の数値は、国が公表した不詳補完値による。)

【一人あたりの公園面積の減少】

千代田区の公園の面積を区民人口で割ると4.19㎡/人(令和４年度時点)となります。

都市部である千代田区では、用地確保の課題があり公園面積を増やすのは難しく、人口が増えると、一人当たりの公園面積が減少するという関係にあるため、道路や公開空地など公共的空間を公園のように使えるようにするなどの取組みが必要です。

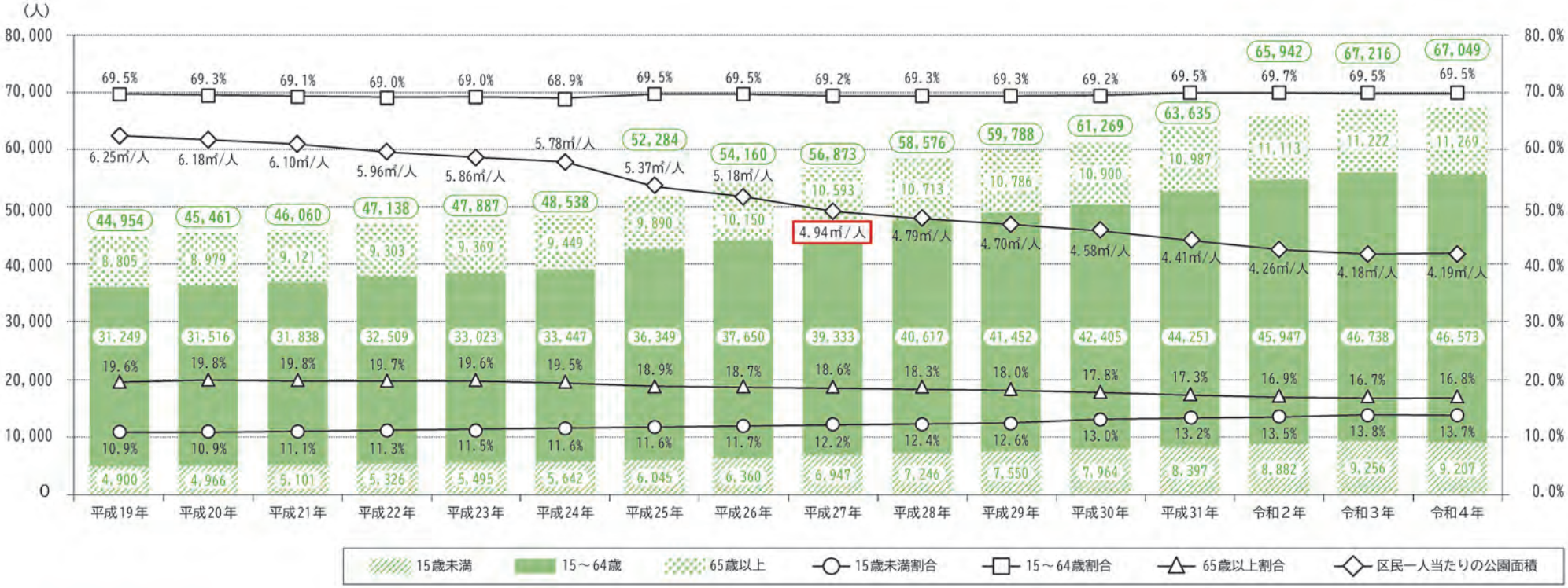


図 千代田区人口及び区民一人当たりの公園敷地面積 ※広場含む (出典:住民基本台帳登載人口(令和４年１月１日時点))

2. 緑の状況

千代田区の緑をみると、江戸城は皇居に受け継がれ、区の中央に位置する皇居や北の丸地区を中心とした区内最大の緑地があります。また、他にも外濠、日比谷公園、国会議事堂前庭等にまとまった緑が分布しています。緑は、生物多様性の保全、ヒートアイランド現象の緩和、雨水の浸透、美しい景観機能の形成など多様な機能を担っており、緑の自然環境と都市機能の調和が重要です。そこで、公園づくりにおいても、周辺の緑地を含めて緑のネットワークの形成に寄与していくことが必要です。

特徴1

皇居と区内西部の麹町・富士見側に緑が点在。

特徴2

神田地域に緑の分布が少ない。

図 緑被区分図(出典:千代田区緑の基本計画 令和3年7月)

3. 公園の整備状況

（1）公園の面積と公園施設の設置位置

区立公園は、現在58箇所であり、約12haの公園面積となっています。

このうち500㎡未満の公園は、32箇所であり、**約半数が小規模公園**です。

小規模公園には、**遊具がほとんどなく**、ベンチと植栽があるのみの整備の状況です。

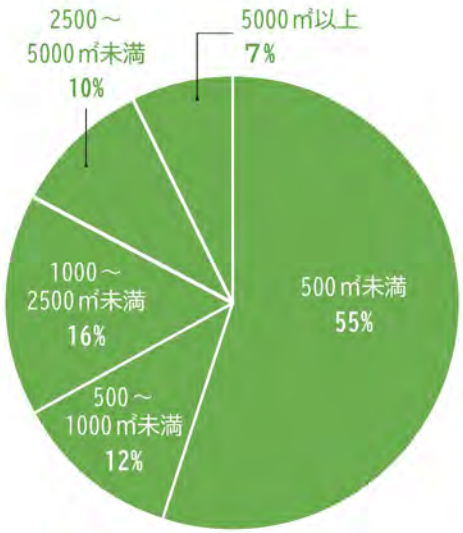
このような小規模公園において、「ボール遊び」や「道具遊び」ができる取組みとして、「子どもの遊び場事業」があります。

次のページに現在の区立公園でできることをまとめたマップ「できることマップ」を示します。

すべり台・ブランコなどの遊具の配置と子どもの遊び場事業の実施状況を示しています。

種別	公園数	面積（㎡）
500㎡未満	32	6459.46
500～1000㎡未満	7	4949.65
1000～2500㎡未満	9	16777.44
2500～5000㎡未満	6	19454.72
5000㎡以上	4	74486.14
合計	58	122127.41

表 公園の面積



（2）公園の配置と公園利用しやすい範囲

大きな公園（2500㎡ 以上）の配置は、地域間で偏りがみられます。

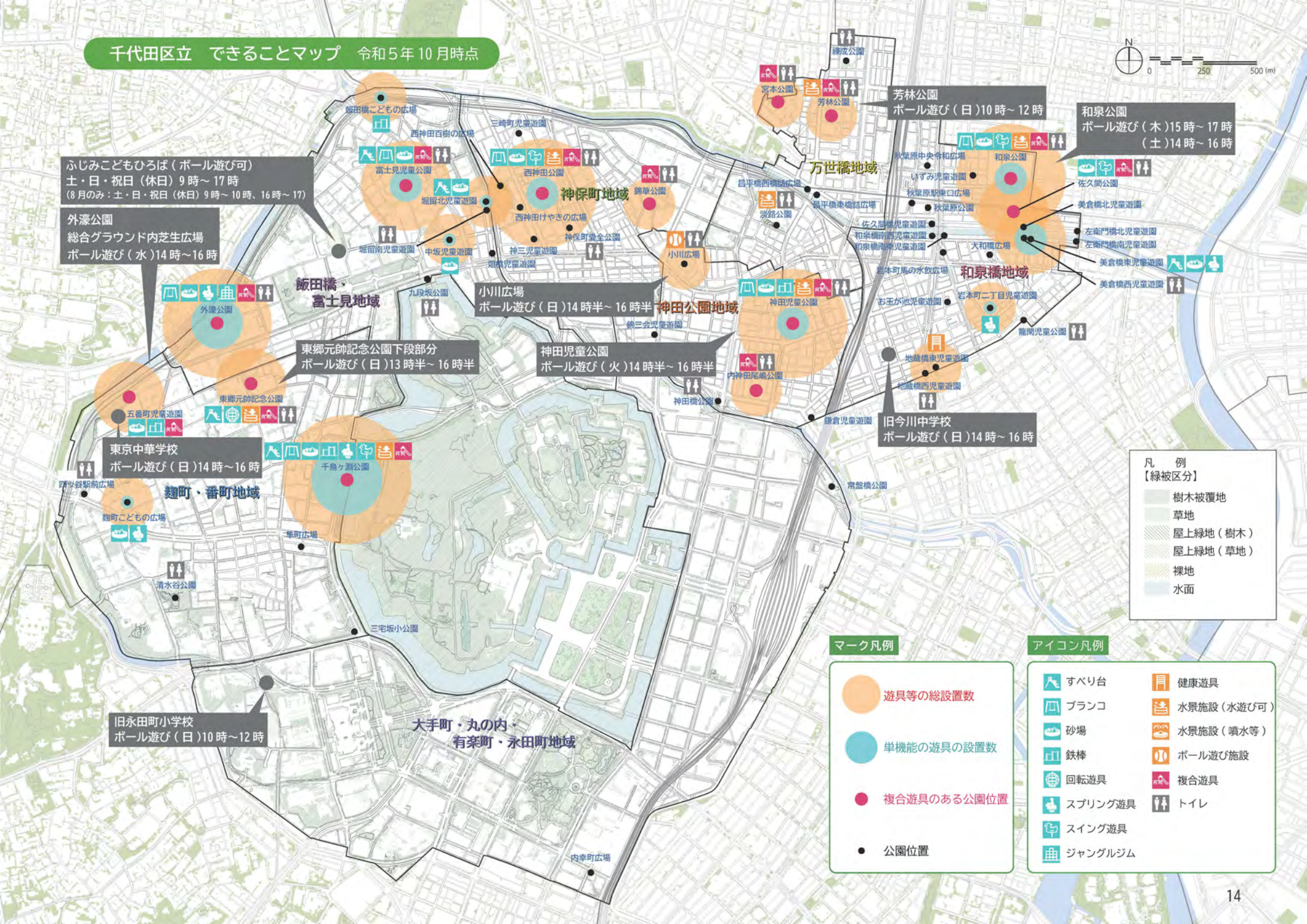
p. 15に示す図面右上の和泉橋地域はほとんどが小規模公園（500㎡ 未満）の地域です。

子どもの遊び場事業とは

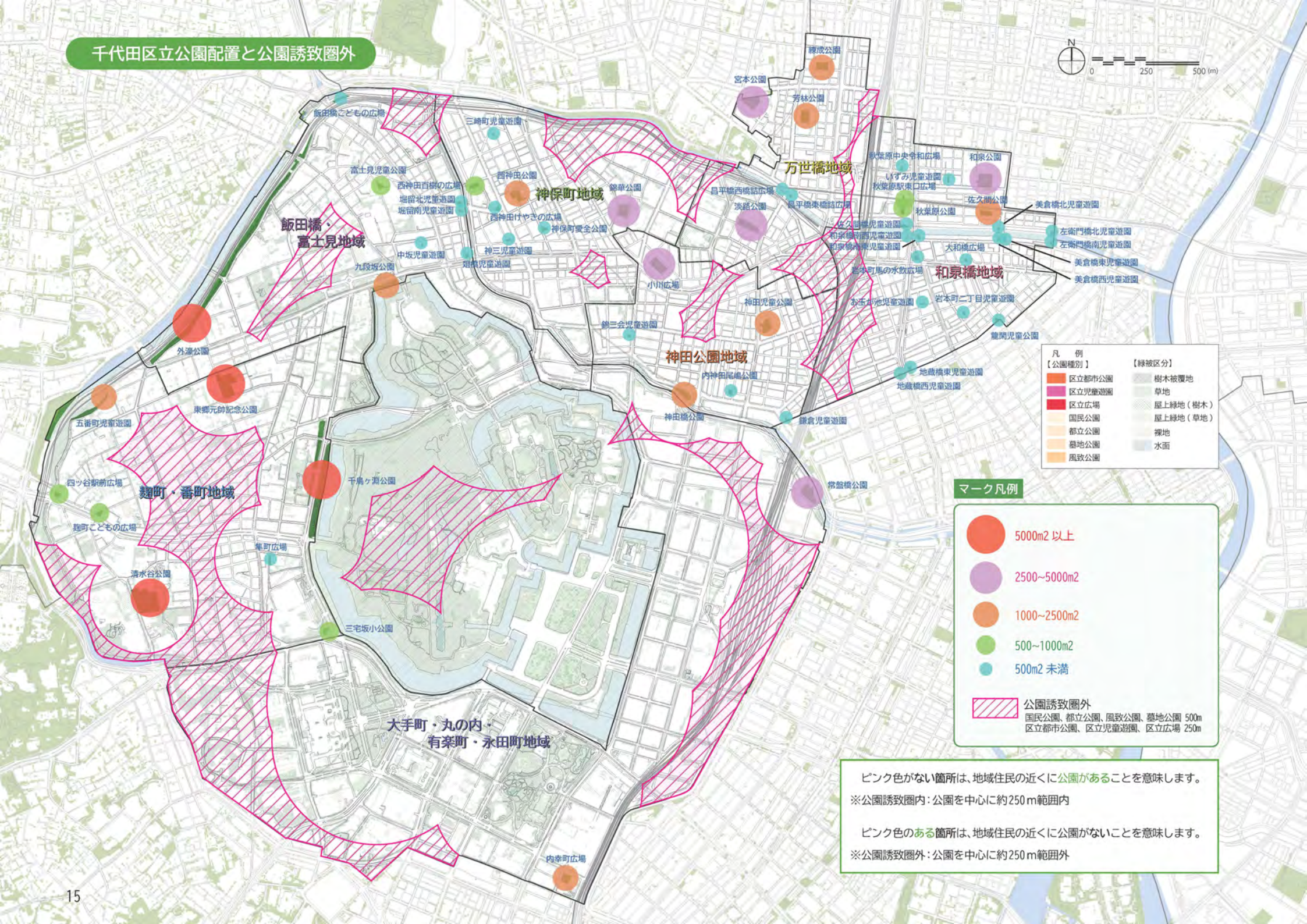
子どもの遊び場事業とは、子ども達を見守ってくれるプレーリーダーが遊びの手伝いや道具の貸出しを行い、時間・場所を限定してボール遊びが行えるなど自由に楽しく遊べるようにする事業です。

芳林公園での実施風景

千代田区立　できることマップ　令和５年 10 月時点



千代田区立公園配置と公園誘致圏外



ピンク色がない箇所は、地域住民の近くに公園があることを意味します。

※公園誘致圏内：公園を中心に約250ｍ範囲内

ピンク色のある箇所は、地域住民の近くに公園がないことを意味します。

※公園誘致圏外：公園を中心に約250ｍ範囲外

4. 公園施設の整備状況

(1)遊戯施設

ブランコ・すべり台・砂場などといった子ども向き遊具が設置されている公園は、全体の3割程度(18公園)にとどまっています。年齢を問わず利用できる健康遊具については1割弱の公園に整備されています。次世代を担う子どもの目線を大切にした取組みの推進や子ども達が楽しく元気に遊び、子育て環境の向上に資する場として活用していくことが考えられます。

公園面積	公園数	遊戯施設	
		子ども向きの遊具	健康遊具
500㎡未満	32	5	1
500～1000㎡未満	7	2	0
1000～2500㎡未満	9	5	1
2500～5000㎡未満	6	3	1
5000㎡以上	4	3	2
合計	58	18	5

千鳥ヶ淵公園のブランコ

西神田公園の健康遊具

(2)運動施設

運動施設は、外濠公園内のテニスコート・野球場(サッカー場)の1箇所、小川広場内のフットサルコートの1箇所のみの状況です。テニスコート・野球場(サッカー場)、フットサルコートは、原則予約が必要です。現状では、**公園内で自由にボール遊びができる公園施設は一切ない**状況であり、利用者がボール遊びを楽しむための適切な場所が確保されていないという大きな課題を示しています。したがって、ボール遊びが可能な場所を創出することは、公園利用者の満足度向上と公園の機能強化に必要と考えられます。

外濠公園総合グラウンド

外濠公園総合グラウンド テニスコート

小川広場 フットサルコート

（3）水飲み・トイレ（便益施設）

水飲みは、22箇所の公園に整備されています。トイレは、24箇所の公園に整備されており、すべてバリアフリートイレです。

一般的に公園のトイレは汚れやすく、維持管理が課題です。

バリアフリー対応の水飲み場／東郷元帥記念公園

バリアフリー対応のトイレ／九段坂公園

公園面積（㎡）	公園数	便益施設	
		水飲み	トイレ
500未満	32	7	6
500～1000未満	7	2	2
1000～2500未満	9	6	7
2500～5000未満	6	4	5
5000以上	4	3	4
合計	58	22	24

表 便益施設の数

（4）ベンチ・スツール（休憩施設）

ベンチやスツールは44箇所の公園に整備されています。

ベンチは、友人や家族との会話、読書、自然観察など、様々な用途で活用されているため、使いやすさと快適さを考慮して配置や数を検討していくことが重要です。

単独で設置されているスツール／錦華公園

シェルターと一緒に設置されているベンチ／東郷元帥記念公園

砂場・芝生広場と一体になったベンチ／錦華公園

公園面積（㎡）	公園数	休憩施設		
		ベンチ・スツール等	野外卓	四阿
500未満	32	23	1	0
500～1000未満	7	3	0	0
1000～2500未満	9	8	0	1
2500～5000未満	6	6	0	0
5000以上	4	4	1	0
合計	58	44	2	1

表 休憩施設の数

5．公園の機能

公園には、遊び場や憩いとしての機能のほか、次のような多様な機能があります。

①全ての公園に備わっている機能

- 自然環境機能
- 憩い機能
- 防災機能

②公園により有する機能

- 歴史資源機能
- シンボル機能
- コミュニティ形成機能
- 運動・遊び場機能
- 先駆的活用機能

①全ての公園に備わっている機能

自然環境機能

生物のすみかとなる水辺空間や樹木

憩い機能

都市の中で生活にうるおいを与える憩いの空間

防災機能

災害時の地域の拠点や延焼防止、復旧復興の空間

②公園により有する機能

歴史資源機能

地域の歴史を継承する空間

・神社に隣接する公園
・震災復興小公園
・歴史的な銅像などがある公園

シンボル機能

地域のシンボル

・日常的に多くの方に利用されている公園
・立地的に重要である場所に位置している公園

コミュニティ形成機能

地域の交流の場となり
コミュニティを醸成する

・祭りやイベント等に利用されている公園

運動・遊び場機能

子どもの健全な育成や
健康寿命の延伸に寄与する

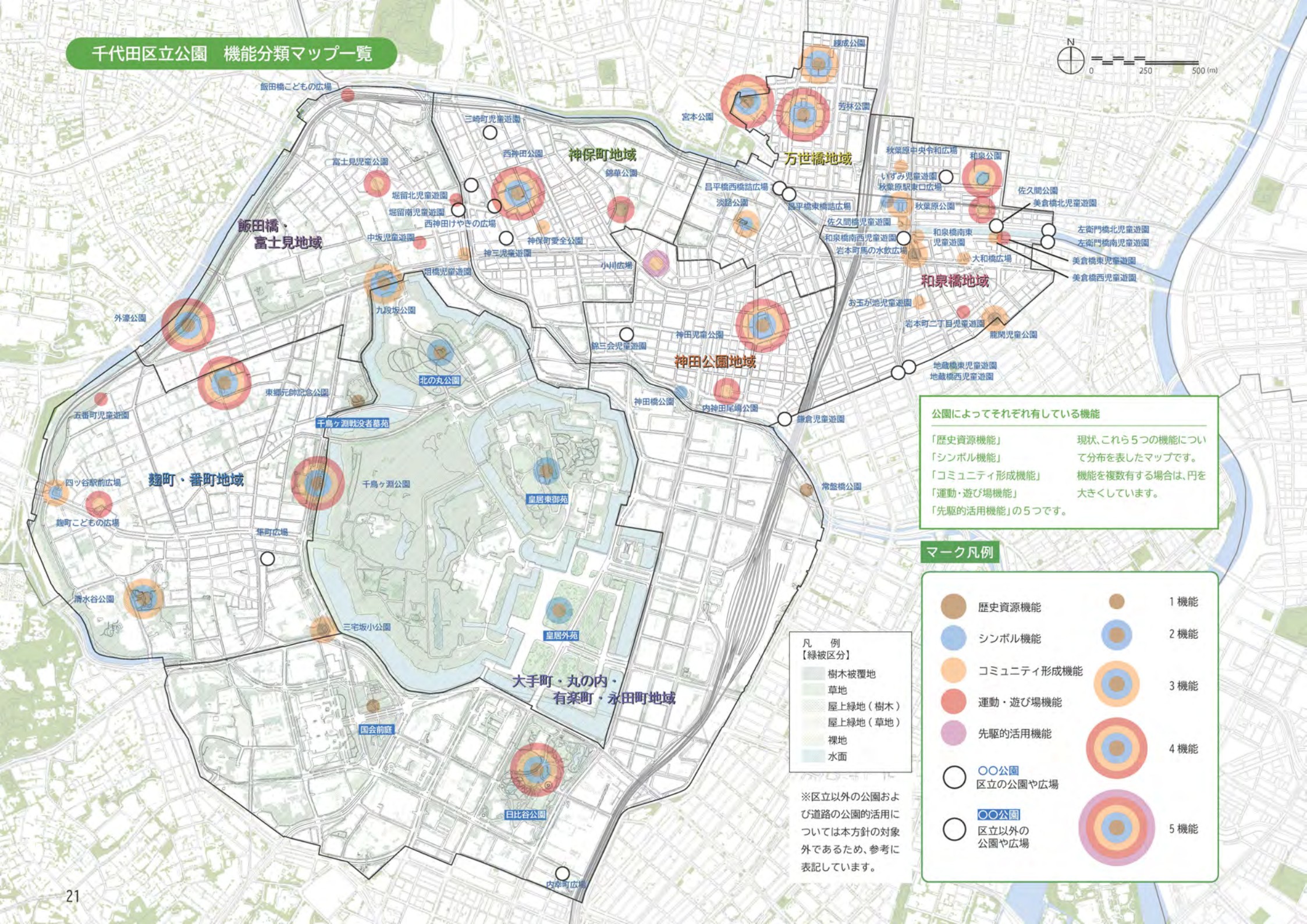
・子ども向き遊具や健康遊具のある公園
・自由な遊びができる公園

先駆的活用機能

住民のやりたいアクティビティを
実現し、地域の活性化を図る

・花火、ボール遊び、
スケートパーク、ドッグラン等

千代田区立公園　機能分類マップ一覧



公園によってそれぞれ有している機能

「歴史資源機能」
「シンボル機能」
「コミュニティ形成機能」
「運動・遊び場機能」
「先駆的活用機能」の５つです。

現状、これら５つの機能について分布を表したマップです。機能を複数有する場合は、円を大きくしています。

マーク凡例

- 歴史資源機能
- シンボル機能
- コミュニティ形成機能
- 運動・遊び場機能
- 先駆的活用機能
- ○○公園　区立の公園や広場
- ○○公園　区立以外の公園や広場

1 機能
2 機能
3 機能
4 機能
5 機能

凡　例
【緑被区分】
- 樹木被覆地
- 草地
- 屋上緑地（樹木）
- 屋上緑地（草地）
- 裸地
- 水面

※区立以外の公園および道路の公園的活用については本方針の対象外であるため、参考に表記しています。

6．公園の利用状況

（１）公園利用調査の概要

千代田区では58の全公園・児童遊園・広場を対象に①アンケート調査②Webアンケート調査③調査目視によるカウント調査④公園利用者へのヒアリング調査⑤街頭インタビュー調査を行いました。その結果、公園利用に関するニーズや意向を広く伺うことができ、十分な調査結果を得ることができました。以下にその概要を示します。

図 調査対象

①アンケート調査
- 区民アンケート総数：2,000、うち回答数680（回収率34%）
- 調査対象：区民、小学校児童（保護者）及び中学校生徒、幼稚園・保育施設の保護者、各施設の職員等
- 調査方法：郵送（住民台帳から無作為抽出）
- 調査期間：令和４年10月17日（月）～12月16日（金）まで

②Webアンケート調査
回答数：520件
（Webアンケート調査は、12月28日（水）まで）

③カウント調査
- 調査実施により平日118,236人、休日108,675人、合計226,911人のサンプル数を得た。

④ヒアリング調査
- 調査実施により平日1,082人、休日1,261人、合計2,343人のサンプル数を得た。

⑤街頭インタビュー調査
回答数：611件

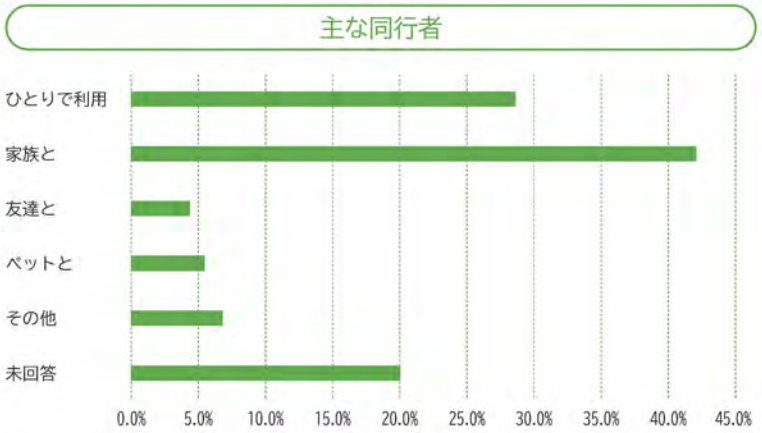
【調査項目】
- 基本情報（年齢、性別、居住地等）
- 公園の利用頻度、利用目的
- 公園の広さ、安全性、遊具の種類・数等）
- 遊びの内容、どんな遊びをさせたいか等
- よく行く公園、求める施設、再整備に考慮して欲しいこと等

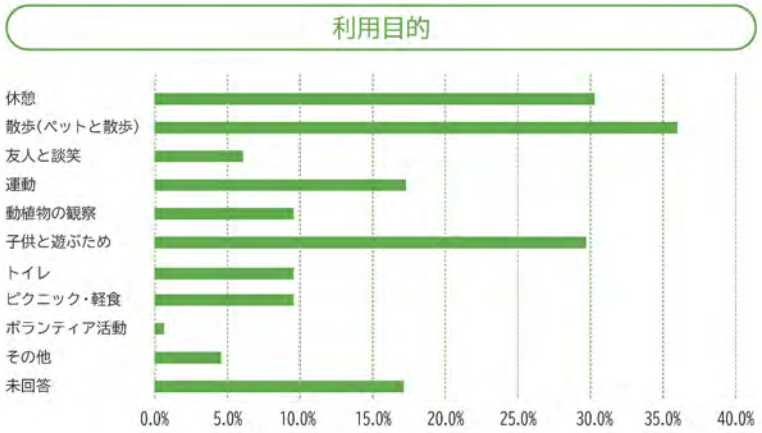
（２）区立公園の利用状況

・16歳以上のアンケート調査では約69%の方から区立公園を利用していると回答がありました。

・主な同行者に関するアンケートでは「家族と」が約42%と最も多く、ついで「ひとりで利用」が多い結果でした。

・利用目的に関するアンケートでは、「散歩（ペットと散歩）」が約36%と最も多く、次いで「休憩」、「子供と遊ぶため」が多い結果でした。





・利用者が多い公園は、東郷元帥記念公園、千鳥ヶ淵公園、外濠公園など、区立公園の中で面積が大きく、多くの方が利用できる広場や遊び場などを有している公園が挙げられました。

・一方で面積の小さな公園は、遊び場機能や休憩施設を有していてもあまり利用されていない傾向でした。

利用者が多い公園

１）面積が大きく利用者も多い

東郷元帥記念公園（7119.43㎡ 平日2206人 休日929人）

２）面積は小さいが利用者が多い

龍閑児童公園（261.61㎡ 平日458人 休日270人）

利用者が少ない公園

３）面積は大きいが利用者が少ない

内幸町広場（2596.00㎡ 平日31人 休日32人）

４）面積が小さく利用者も少ない

中坂児童遊園（87.92㎡ 平日12人 休日０人）

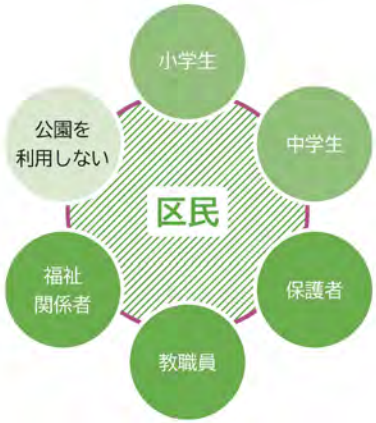
（）内利用人数は、目視でカウントした人数　・調査期間：令和４年10月３日（月）～17日（月）の平日・休日の２日間で実施　・調査時間：午前９時～午後６時（９時間）

（３）公園の満足度について

・16歳以上のアンケート調査の中で利用頻度の多い区立公園に対して、公園への不満に関するアンケートを行ったところ、約64%の方が「満足していない」と回答されました。

・「遊具の充実度」については、約80%の方から「満足していない」という結果が得られ、豊富な遊具や新たな遊び場機能の拡充が求められていることが分かります。

・ベンチ等の充実度（ベンチなどの休憩施設や照明・園内サインなど）に関するアンケートでは、65%以上の方から「満足していない」という結果が得られました。

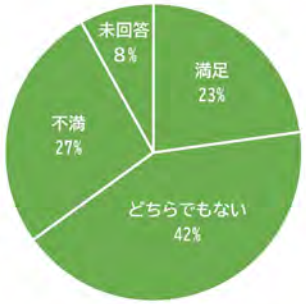


千鳥ヶ淵公園／老朽化の進んでいる遊具

公園への不満

遊具の充実度

ベンチ等の充実度

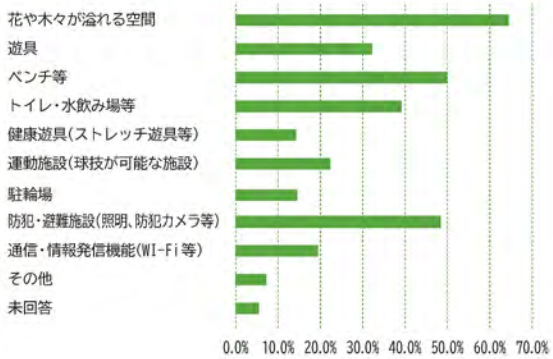


（４）身近な公園に求めることについて

・16歳以上のアンケート調査の中で区立公園の魅力をアップするために身近な公園に求める施設についてのアンケート調査を行ったところ、「花や木々が溢れる空間」が約64%と最も多く、次いで「ベンチ等」、「防犯・避難施設（照明、防犯カメラ等）」が多い結果でした。

・公園を再整備する際に考慮して欲しいこととして、「利用者の意見を聞いた整備をして欲しい」という回答が最も多い結果となりました。

身近な公園に求める施設



清水谷公園／木々や草花、水辺空間など自然環境が充実

九段坂公園／眺望の良い場所に設置されたベンチ

（5）子どもの目線による魅力ある公園づくり

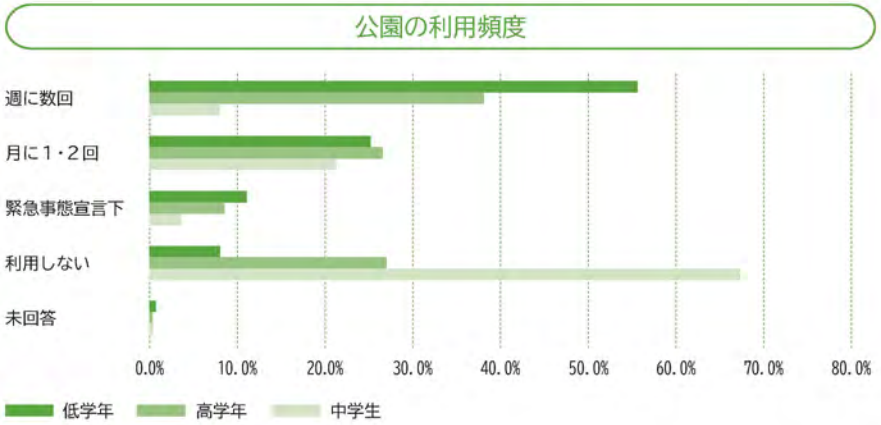
・幅広い年代のより多くの子どもたちから率直な意見を聞くために、千代田区内にある私立を含めた全小学校・全中学校にアンケートを配布し「子ども達の声」を調査しました。

・小学生への公園の利用頻度に関するアンケート調査では、約83%の児童から区立公園を利用していると回答がありました。

・利用頻度が多い区立公園は、「東郷元帥記念公園」、「和泉公園」、「神田児童公園」などが挙げられ、小学校と隣接し広場や複合遊具等の遊び場機能を有している公園が挙げられました。

・面積の小さな公園（児童遊園・広場）は利用率が低い傾向にあり、一部の公園に利用が偏っていることが分かりました。

・区立公園を利用する目的は、「遊び」が最も多く、次いで「運動」、「友達とのお話」が多い結果でした。



遊具で遊ぶ親子と木陰でお喋りする人々

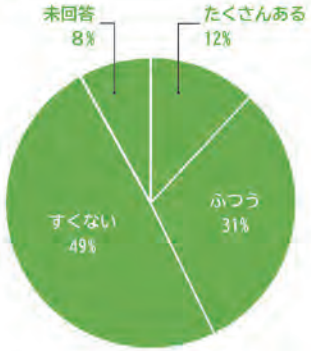
中学生へのアンケート調査では約67%の方が区立公園を「利用しない」と回答がありましたが、寄り道が制限されていることなどが考えられます。

（６）子ども達の公園の満足度

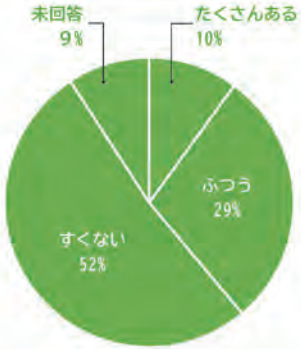
・遊具の種類・数についての小学生に対するアンケート調査では、約80%が「満足していない」という結果となり、豊富な遊具や新たな遊び場機能の拡充が求められていることが分かります。

・ベンチ等の種類に関するアンケート調査においては、約60%の小学生が「満足していない」という結果となりました。

遊具の種類



遊具の数



ベンチ等の種類

主な自由意見

麹町地域

遊具が少ないし、ふれあえる木々や岩や丘もなく、みんなで考えて遊んだりかくれんぼをしたり、楽しく過ごせません。

なにも遊具がない公園が多すぎるし公園に対する不満が沢山ある。

公園のトイレはこわくて使いにくい。

ボールや花火が出来る公園がないから作って欲しい。

神田地域

いろんな遊びができる公園や広場があるといいなと思います。ボール遊びやかけっこ、鬼ごっこ、遊具など

スケーターで思い切り遊べる広場が欲しい。神田駅の近くに遊具がいっぱいある公園が欲しい。

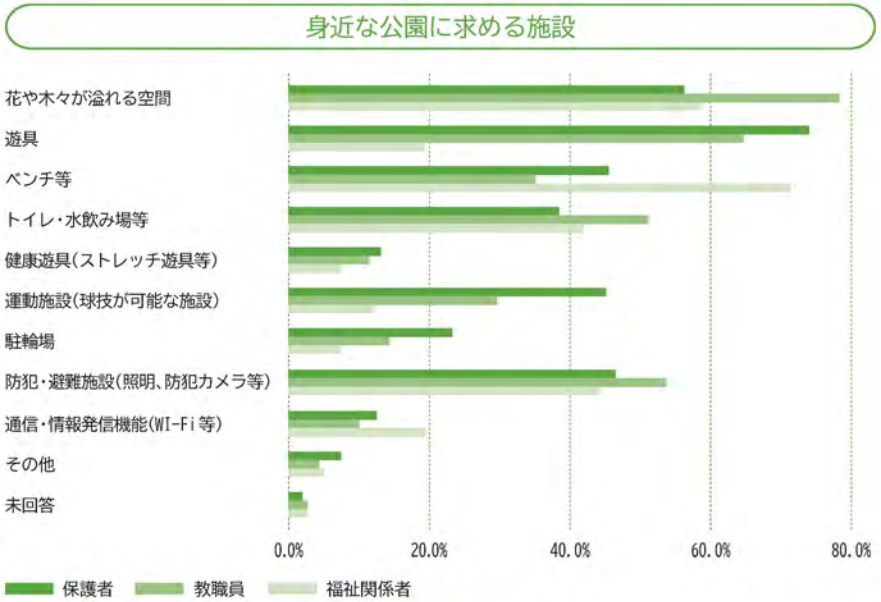
野球の素振りやキャッチボールが出来ない。遊具が少ない。

ブランコやターザンロープが欲しい。滑り台を長く急にして欲しい。

遊んでもいい自然を増やして欲しい！また、広いほうがいい。

（7）身近な公園にあったらいいなと思う機能や施設
（保護者・教職員・福祉関係者）

・身近な公園に求める施設について保護者からは「遊具」が約74%と最も多く、次いで「花や木々が溢れる空間」が多い結果でした。
・教職員からは、「花や木々が溢れる空間」が約78%と最も多く、次いで「遊具」が多い結果でした。
・福祉関係者からは、「ベンチ等」が約71%と最も多く、次いで「花や木々が溢れる空間」が多い結果でした。
・「子どもにどんな遊びや学びをして欲しいか」という設問に対しては、保護者は「遊具での遊び」が最も多く、教職員は「水遊びなど自然とふれあう遊び」が最も多い結果になりました。（資料編参照）



錦華公園（遊具・木陰のベンチ）

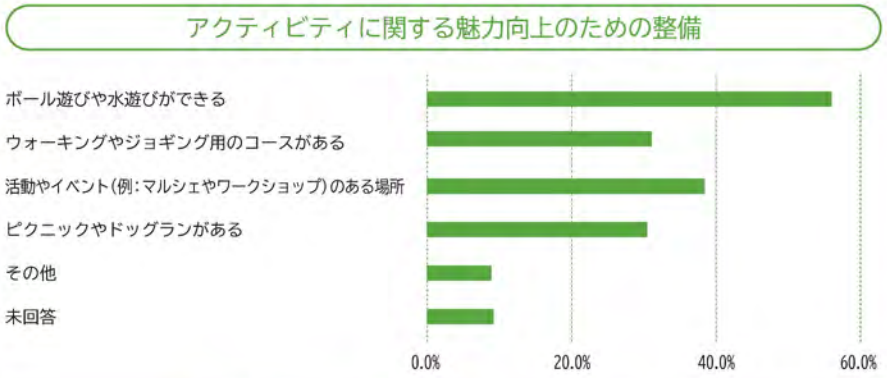
東郷元帥記念公園（水遊びなど自然とふれあう遊び）

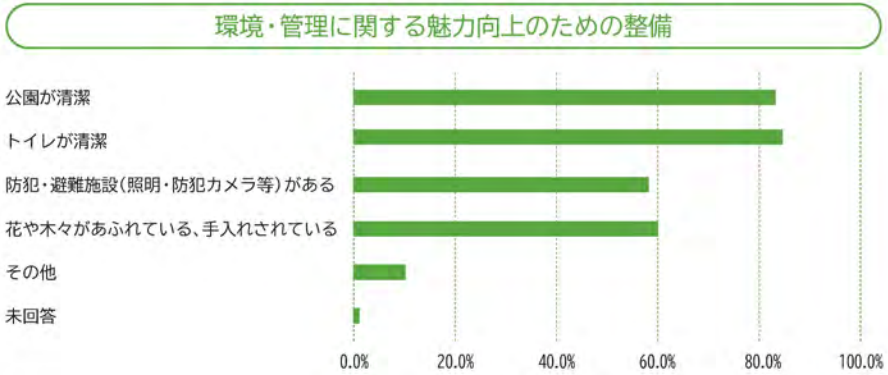
（８）区立公園を利用しない人からみた公園の魅力アップ案

・令和５年度に実施した「区立公園を利用しない人」向けのWEBアンケート調査では、公園を利用しない理由は「忙しいので行けない」が最も多く、次いで「魅力のある公園等がない」、「公園等に興味関心が特にない」が多い結果でした。（資料編参照）

・「アクティビティに関する魅力向上のための整備」に関するアンケート調査では、「ボール遊びや水遊び」が約56％と最も多く、次いで「活動やイベント（マルシェやワークショップ）」、「ウォーキングやジョギング用のコース」が多い結果でした。

・「環境・管理に関する魅力向上のための整備」に関するアンケート調査では、「公園やトイレの清潔感」は80％以上の方より求められていることが分かりました。



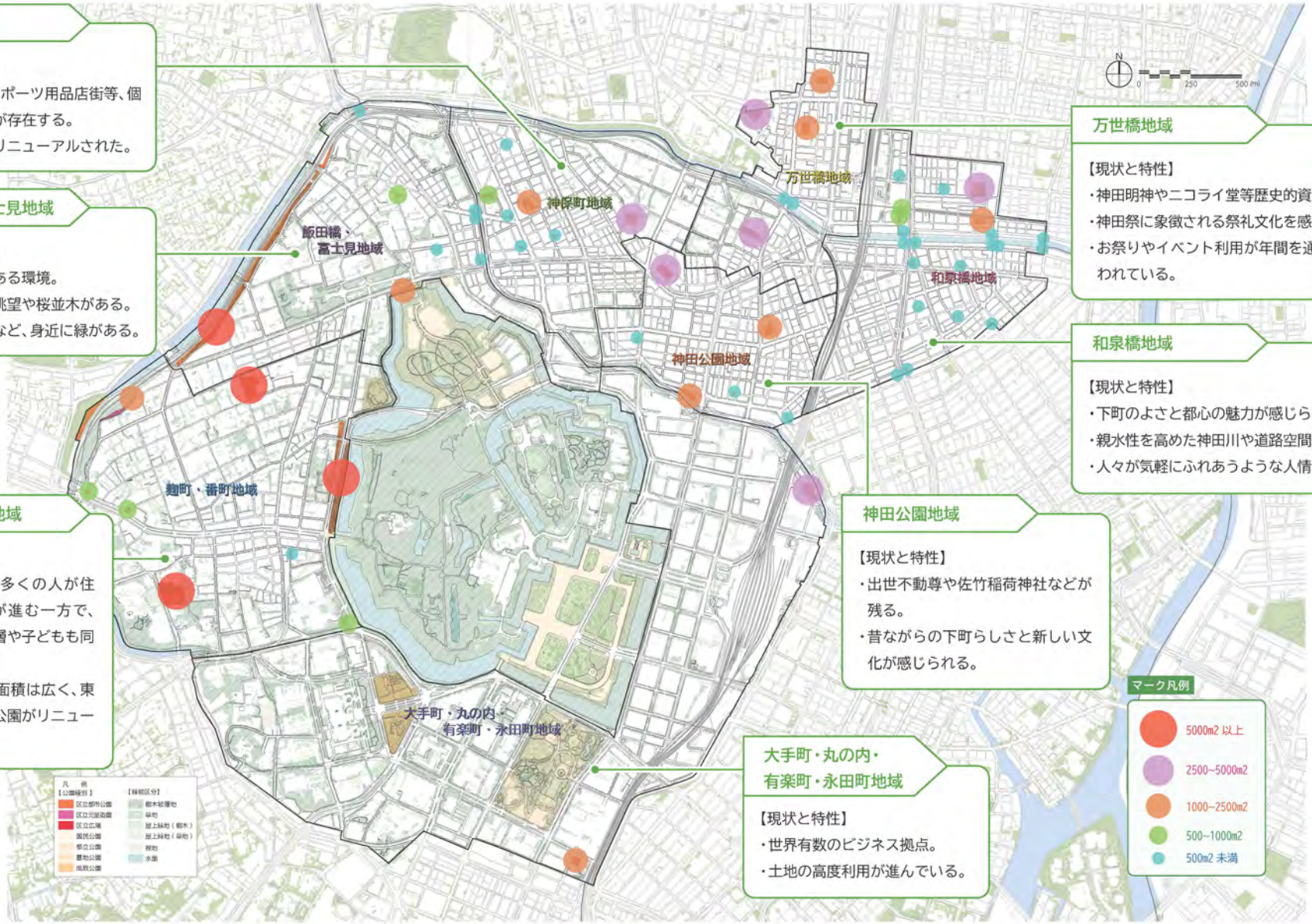


神田児童公園（水遊びの様子）

東郷元帥記念公園（イベントの様子）

7. 地域ごとの特性

アンケート調査の結果などをもとに、公園の現状や利用者ニーズを地域毎に分析し、それぞれの特性を以下に示します。



神保町地域

【現状と特性】
- 古書店街、スポーツ用品店街等、個性ある界隈が存在する。
- 錦華公園がリニューアルされた。

飯田橋・富士見地域

【現状と特性】
- 落ち着きのある環境。
- 外濠公園の眺望や桜並木がある。
- 北の丸公園など、身近に緑がある。

麹町・番町地域

【現状と特性】
- 区内で最も多くの人が住み、高齢化が進む一方で、ファミリー層や子どもも同時に増加。
- 公園の平均面積は広く、東郷元帥記念公園がリニューアル中。

万世橋地域

【現状と特性】
- 神田明神やニコライ堂等歴史的資源が多数存在。
- 神田祭に象徴される祭礼文化を感じられる。
- お祭りやイベント利用が年間を通して頻繁に行われている。

和泉橋地域

【現状と特性】
- 下町のよさと都心の魅力が感じられる。
- 親水性を高めた神田川や道路空間が存在。
- 人々が気軽にふれあうような人情あふれる空間。

神田公園地域

【現状と特性】
- 出世不動尊や佐竹稲荷神社などが残る。
- 昔ながらの下町らしさと新しい文化が感じられる。

大手町・丸の内・有楽町・永田町地域

【現状と特性】
- 世界有数のビジネス拠点。
- 土地の高度利用が進んでいる。

8．公園をより良くするための４つの視点

これまでに整理・分析した区立公園の現状から、公園をより良くするための４つの視点が挙げられます。

視点 1 多様化する区民ニーズの実現

・少子高齢化や多国籍化に対応し、遊具の数・種類やボール遊びなどの要望に応えつつ、公園の休憩や祭事利用機能も保全する必要があります。
・これまでの禁止事項が多い管理から、柔軟な運用と区民ニーズに応じた公園づくりが必要です。

視点 2 ポテンシャルの有効活用

・江戸城を中心に発展し千代田区は、江戸の文化と近代の機能が融合した街です。
・約400年の歴史を重ね、都心の風格と心地よい環境を継承しています。
・公園等を始めとする伝統文化の発信に加え、環境の保全やベンチなどの休憩施設を整備することで、魅力ある公園を将来に引き継ぐことが重要です。

視点 3 全ての人がつかいやすい公園

・少子高齢化が進行中ながらも、区の人口は増加しています。
・子ども向け遊具の整備率は３割と低く、小規模公園では遊具が不足しています。
・遊具の種類も限られており、選択肢の少なさに不満があります。そのため、公園の特性に合わせた遊びのバリエーション増加が求められています。
・健康遊具の数も少なく、高齢者や障がい者が使いやすい公園への改善が必要となっています。

視点 4 様々な主体との連携

・地域住民、ボランティア、民間企業等が公園の管理や運用に関与することができます。
・公園でのイベント開催や新サービス提供を推進し、基本的な維持管理だけでなく、ルールの緩和に伴う見守りや清掃等のサービス拡充が求められています。
・各主体との緊密な連携が今後の公園づくりの重要なテーマとなっています。

点在する歴史資源

充実した遊具

アダプトシステムによる草花の管理

COLUMN 「全ての人がつかいやすい公園」とは・・・

昨今の公園整備では「インクルーシブ遊具」に代表されるように「インクルーシブ」な公園づくりが求められています。

インクルーシブとは

個々の使用者に寄り添い、様々なニーズや価値観を受け入れ、深く理解し、いかすことを含む包括的な組織のあり方を表す言葉です。

千代田区では、公園を利用される方の多様性を尊重し、様々な状況を持つ人々のニーズに応え、積極的に区民の方の声を取り入れながら「全ての人が使いやすい公園」づくりを目指します。